

九州大学 彦山生物学 実験施設

Hikosan Biological Laboratory
of Kyushu University

日本三大修験道の霊山として知られる英彦山。

その中心部に聳える中岳の中腹に

木造の小さな建物がある…。



設立から90年。九大昆虫学教室のモニタリング施設を舞台に
生きものと自然と歴史を4年にわたって記録した長編ドキュメンタリー映画。

出演：広渡俊哉 紙谷聡志 三田敏治 屋宜禎央 丸山宗利 高千穂有昭 ほか

監督・撮影・編集：児玉公広

製作：株式会社イワプロ 球フィルムス

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（日本映画製作支援事業）| 独立行政法人日本芸術文化振興会

2025年/日本/カラー/16:9/ドキュメンタリー/118分





日本の昆虫学の原点 生物多様性を研究するモニタリングサイトの貴重な記録

英彦山

福岡県添田町



彦山生物学実験施設は、福岡県添田町にある英彦山（標高 1199m）の中腹（標高 670m）にある九州大学農学部の附属施設。これまで英彦山に生息する昆虫を中心とした生物の研究に寄与し、九大スタッフや学生、外部からの訪問研究者などによって利用され、多くの研究成果があげられてきた。

英彦山には多様な自然林が残されている上、実験施設で宿泊しながら長期間の調査が可能であることから、これまでにヒコサンオオズナガゴミムシなど 50 種を超える新種が発見されている。集められた昆虫標本は約 30 万点にもおよぶ。

施設の前身は、英彦山神宮宮司の高千穂宜磨男爵（1865～1950）が明治 33 年に設立した昆虫学実験所。昭和 11 年（1936）に九州帝国大学に移管され、現在の場所に誕生した。

生物とりわけ昆虫を愛し、研究を続けた高千穂男爵とはどのような人物だったのか？

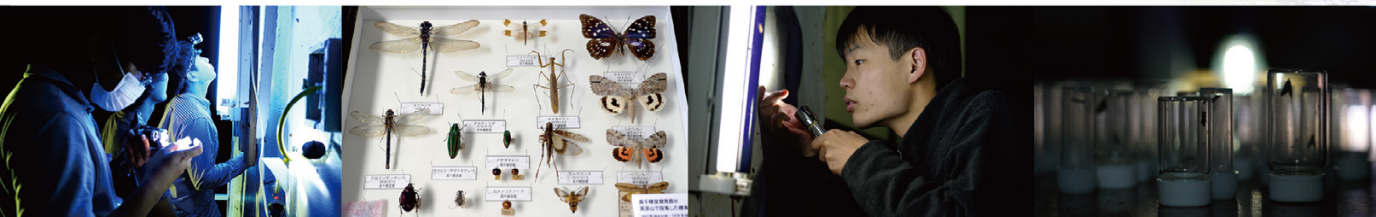
これまでほとんど紹介されることのなかった施設の内部にカメラを持ち込み、利用の様子や高千穂男爵の人物像に迫る。

施設は座主院跡に建てられており、雪舟式の庭園などとともに史跡としても重要な場所である。

映画では英彦山に生息するオオカマキリモドキやアオタマムシなどの珍しい昆虫類や、九大のスタッフや学生、地元の昆虫愛好家による昆虫採集の様子のほか、英彦山に通って多くの俳句を詠んだ俳人杉田久女の逸話、実験施設一帯の歴史的な価値などを紹介している。

コメント | 広渡俊哉 九州大学名誉教授

古くから多様な昆虫が生息することが知られる英彦山に設立された九州大学彦山生物学実験施設は、約 90 年に渡って生物多様性を研究するモニタリングサイトとして利用されてきました。同施設は昆虫学を志す者にとって、昆虫の多様性だけでなく、日本の昆虫学の原点や歴史を体感できる貴重な場となっています。この記録映画をきっかけに、この施設が英彦山の自然と歴史の象徴となることを祈念しています。



九州大学大学院 農学研究院 昆虫学教室 九州大学総合研究博物館 広渡俊哉 紙谷聡志 三田敏治 屋宜慎史 丸山宗利 大原直道 外村俊輔 阿部純大 安川怜志 後藤聖士郎 朴鎮亨 上原友太郎 佐藤勇哉
橋爪拓斗 川島育海 谷野彩奈（筑波大学） 富永豪太（弘前大学） 岡崎洸太郎（九大 理学研究院） 山口大輔 武田宏 福田恵子 英彦山神宮 高千穂有昭 佐々木公隆 上田恭一郎 岩本敦之 保科英人
妹尾俊男 坂本宮尾 今川英子 小野芳美 正田実知彦 小林修司 小野正則 植田周平

協力 / 平嶋義宏 三枝豊平 山根一真 福岡県年輪博物館 福井大学 佐賀大学 知足美加子（九大 芸術工学研究院） 中村剛之（弘前大学） 今坂正一 熊谷信孝 松養卓貞（松養坊） 笠松晋 西田賢司 末本圭子
マザーテラスジャパン 添田町観光ガイドの会 英彦山スロープカー 福岡県庁 添田町 嘉麻市 北九州市立文学館 石太郎 杉田重男 かごしま近代文学館 増田進 阿部芳久 那須義次 野村周平
柿添翔太郎 天満和久 鞍井希風 吉田貴大 黄国華 徳田誠 九州大学の学生とスタッフの皆さん 体験授業に参加した高校生の皆さん 妹尾壽子 山内裕子 見玉志保 DOCUPERU
ナレーション / 中村朝佳 プロデューサー / 岩永成人 撮影 / 小西一也 ドローン・撮影 / 藤原常隆 照明 / 森田貴大 MA / 橋本尚樹 松尾優衣 デザイン / 三好加菜夢（RKB CINC）

助成： 文化庁文化芸術振興費補助金（日本映画製作支援事業） | 独立行政法人日本芸術文化振興会 製作 / 株式会社イワプロ 球フィルムス 監督・撮影・編集 / 児玉公広 © IWAPRO KYUFILMS 2025